

クラブ会長各位



パイロットインターナショナル日本ディストリクト
ガバナー佐藤万里子
‘2023’パイロットウォーク実行委員長
ルテナガバナー大宮杜喜子

「‘2023’パイロットウォーク」実施のご報告

‘2023’パイロットウォークは、2023年10月1日を中心に9月から12月の長きにわたり実施されました。地元のお祭りや自治体の行事に合わせて実施したクラブが多く地元根差したイベントとなりました。日曜日にこだわらず、例会に合わせて例会後出席者全員でウォークしたクラブもあり形式は自由度が増しています。

☆今年の実施クラブは、33クラブ中24クラブ(2クラブ合同、4クラブ合同)また、中止したクラブは8クラブと4分の1のクラブが実施しなかったことは、コロナ以外の理由があります。主には会員の高齢化によるところが多く残念です。

☆参加者は、会員が家族を含め1,012名、スペシャルオリンピックス42名でした。

☆アンカーの参加は、東京AC・東京目白AC・高崎AC・鹿児島ACでした。親クラブからアンカーへの声掛けや日頃一緒に活動をしているかが影響するようです。アンカーの自主的な参加、風船バレーなどのアトラクションはリーダーシップのトレーニングにもなりますのできめ細やかな心配りが大切と感じます。

☆後援名義が役立っているか否かのアンケートを実施したところ

- ・役立っている・・・9クラブ
 - ・特に役立っていない・・・8クラブ
 - ・どちらともいえない、無回答・・・6クラブ
- という結果でした。

上記の結果から新しい方向性は見えてこず、しばらく現状維持が妥当と考えます。

☆今後の課題

コロナ禍の 4 年間に会員の年齢があがり体力が落ちたことへのカバーがまだ出来ていません。今後新しいエネルギーを補給し(会員増強)規模拡大を目指すか、現在の会員の体力に合ったウォークを目指すか分岐点にきています。当面は実施・中止などクラブの実情に見合った活動を推進していくことだと思えます。

しかし今期も、パイロットウォークを通じて、脳関連障がいをもつ方々へのご支援と外傷性脳障がいの予防を呼びかけ、パイロットの認知度向上にもつながりました。

皆さまの収益は、各クラブの地元の団体への寄付と全国レベルの寄付に充てられます。全国の皆さまからのご厚情とご協力に、心より感謝申し上げます。

【2023-24 年度全国寄付先】

特定非営利活動法人

日本知的障がい者サッカー連盟へ 10 万円